



平成 20 年 2 月 7 日

各 位

三井不動産株式会社

平成 20 年 3 月期第 3 四半期決算のお知らせ

三井不動産株式会社は、本日、平成 20 年 3 月期第 3 四半期決算を確定しましたのでお知らせいたします。なお、詳細につきましては、本日東京証券取引所に提出いたしました「第 3 四半期財務・業績の概況」をご覧ください。

◆ 連結業績概要（単位：百万円）

	当第 3 四半期 (平成 19. 4. 1~12. 31)	前第 3 四半期 (平成 18. 4. 1~12. 31)	増減(率)	
売上高	913,883	765,523	148,360	(19.4%)
営業利益	102,130	89,442	12,688	(14.2%)
経常利益	93,248	77,065	16,182	(21.0%)
第 3 四半期純利益	58,408	52,070	6,337	(12.2%)

- 当第 3 四半期の売上高は、対前年同期比で 19.4%増収し 9,138 億円。また、営業利益は 1,021 億円となり、同比 14.2%の増益。
- 「賃貸」セグメントでは、前期に竣工・稼動した「東京ミッドタウン」（東京都港区）や、「ららぽーと横浜」（神奈川県横浜市）など首都圏 4ヶ所の大規模商業施設に加え、「グラントウキョウノースタワー」（東京都千代田区）など当期竣工したオフィスビルや商業施設が収益寄与したことなどにより、前年同期に比べ、528 億円増収、65 億円増益。
- 空室率は引き続き低水準で推移。当第 3 四半期末における連結ベース（海外を含む）での全オフィス・商業施設の空室率は 1.2%。また、単体ベースでの首都圏オフィスの空室率は 1.3%と、引き続き低水準で推移。
- 「分譲」セグメントでは、個人顧客向け住宅分譲において、「芝浦アイランドグローヴタワー」（東京都港区）など大規模物件の引渡しがあったため増収増益。また、投資家向け分譲においても順調に進捗し、当第 3 四半期は前年同期に比べ、セグメント全体で、722 億円の増収、52 億円の増益。
- 「仲介・販売受託・コンサルティング」「管理受託」の各セグメントについても、対前年同期比で増収増益。
- 営業利益の増益を受け、経常利益、第 3 四半期純利益も前年同期に比し、それぞれ 161 億円、63 億円の増益。

◆ 連結業績予想

当第 3 四半期の業績は、中間決算公表時点（平成 19 年 10 月 31 日）における通期見通し（売上高、営業利益、経常利益、当期純利益）に対し、順調に推移しており、当該予想数値の変更はありません。

以 上

<添付資料>

・財務諸表（連結・個別）

本日この資料は以下の記者クラブに配布しています。

○兜クラブ ○国土交通記者会 ○国土交通省建設専門紙記者会

お問合せ先 三井不動産株式会社 広報部 03（3246）3155
--

注意事項

本資料記載の将来の業績の見通しに関する事項につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。